



株式会社ジーテクト

東証一部 コード 5970

# 個人投資家説明会

2018年3月26日

証券会員制法人 札幌証券取引所 様

取締役常務執行役員 吉沢 勲 日本証券アナリスト協会検定会員



自動車のボディパネルを剥がすと、骨格となる部品が現れます



軽量かつ安全なボディづくりが求められています

1. 会社概要

2. 当社の競争力

3. 中期事業計画

4. 当社の業績

5. 株主還元

1. 会社概要

2. 当社の競争力

3. 中期事業計画

4. 当社の業績

5. 株主還元

社名	株式会社ジーテクト (G-T E K T)
新会社発足日	2011年4月1日 (菊池プレス工業と 高尾金属工業が合併)
資本金	46億56百万円
上場市場	東証一部
本社所在地	埼玉県さいたま市 大宮区桜木町 1-11-20 大宮JPビル18階
代表者	代表取締役社長 高尾 直宏
発行済株式総数	43,931千株
連結売上高	2,061億円
営業利益	144億円
従業員数 (2017年9月末現在)	連結 7,921名 単体 1,189名

上記の数値は2017年3月期



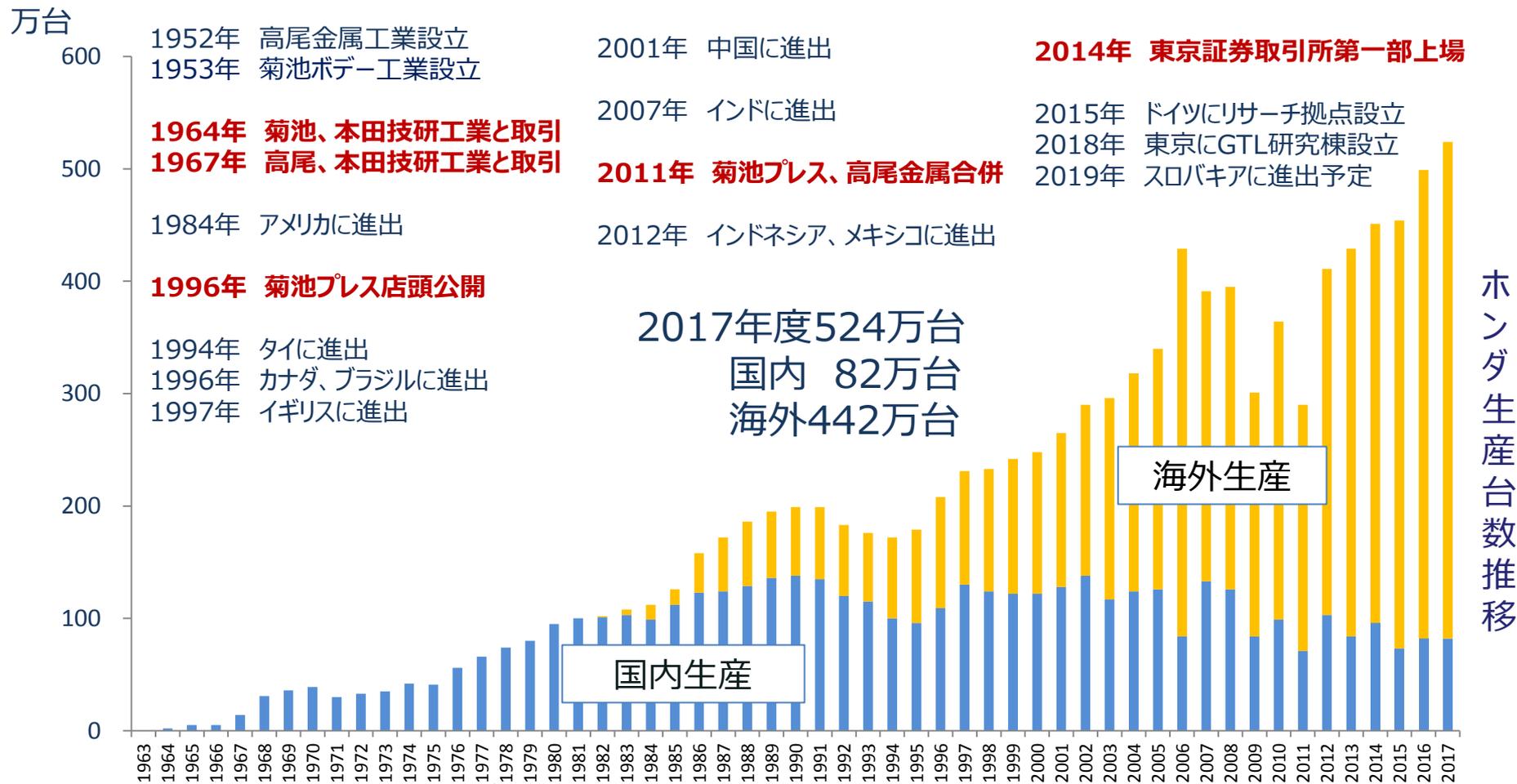
代表取締役社長  
高尾 直宏

本日は株式会社ジーテクトの会社説明会にご参加いただきまして、誠にありがとうございます。

現在、自動車産業は、自動運転、交通ネットワークやシェアリング、電動化の3つの急激な変革期にあります。電動化が、車体のさらなる軽量化を求めています。当社は、アルミボディの量産化にいち早く着手し、先進的かつ競争力のある車体部品の専門メーカーとして、世界トップを目指します。

当社の中長期的な成長戦略として、「売上高3,000億円、営業利益200億円」を掲げ、生産・技術・人事のイノベーションを進めておりますが、各施策が徐々に連動し合い、「線」となって結びつき始めており、この「線」はさらに伸びていき、世界中を結んでいく予定です。さらに、少子高齢化・国内市場の成熟化に対し、2018年より「生産性向上プロジェクト」を推進し、1人あたりの利益の拡大を目指します。

是非とも、株式会社ジーテクトを、よろしくお願い申し上げます。



1952年 高尾金属工業設立  
 1953年 菊池ボデー工業設立

**1964年 菊池、本田技研工業と取引**  
**1967年 高尾、本田技研工業と取引**

1984年 アメリカに進出

**1996年 菊池プレス店頭公開**

1994年 タイに進出  
 1996年 カナダ、ブラジルに進出  
 1997年 イギリスに進出

2001年 中国に進出

2007年 インドに進出

**2011年 菊池プレス、高尾金属合併**

2012年 インドネシア、メキシコに進出

**2014年 東京証券取引所第一部上場**

2015年 ドイツにリサーチ拠点設立  
 2018年 東京にGTL研究棟設立  
 2019年 スロバキアに進出予定

ホンダの海外展開に合わせて拡大・成長してきた

本田技研工業株式会社  
 HPプレスリリースより

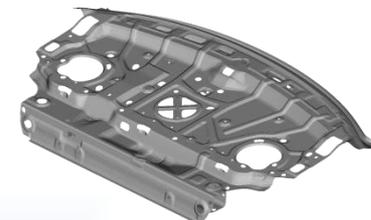
# 私たちの製品 ～自動車ボディ部品～



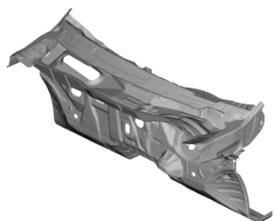
サイドストラクチャー



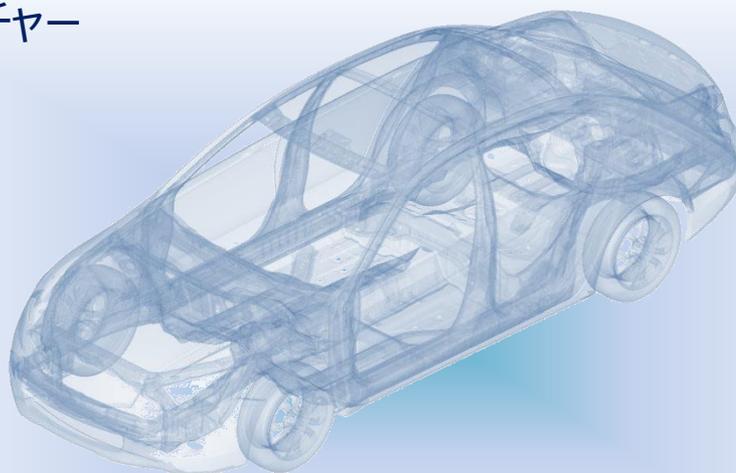
ルーフ



パーセル



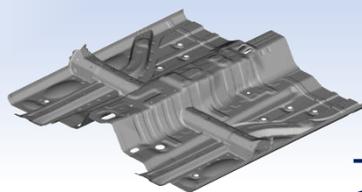
ダッシュボード



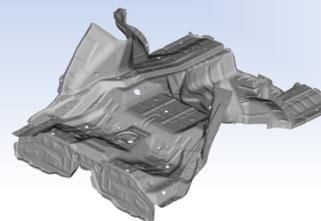
バックパネル



フレーム



フロア



軽量かつ高剛性なプレス部品をグローバルに供給

## 車体部品の製造工程

金型  
設計・製作



溶接ライン  
設計・製作



① コイル鋼板の切断・型抜き



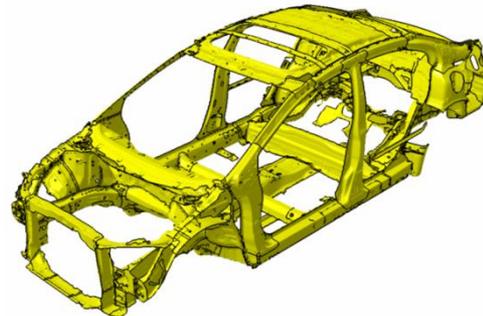
② プレス加工



③ プレス部品の溶接組立

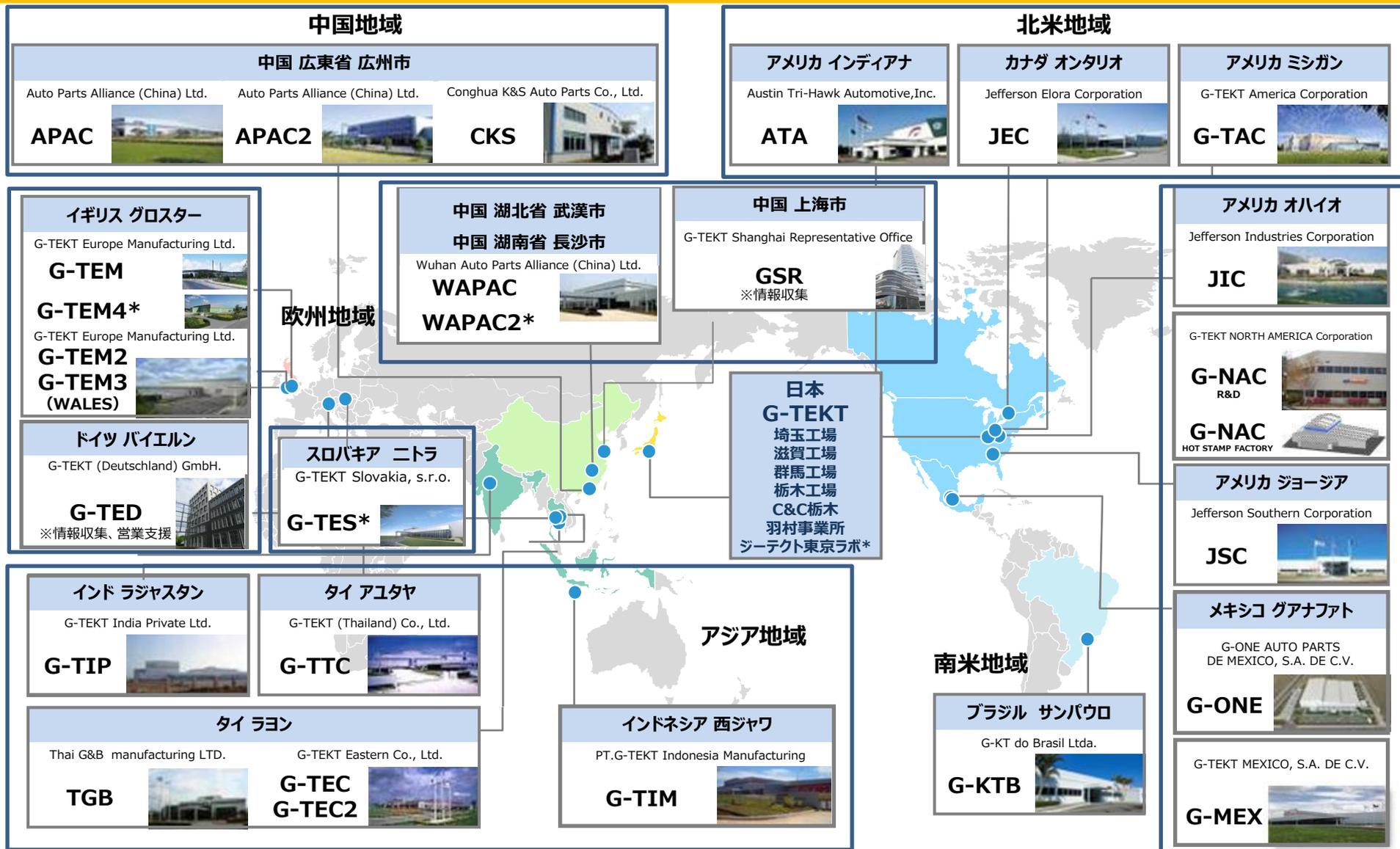


④ 出荷





東西のホンダ向け、群馬のスバル向け、栃木の精密部品の4工場で事業展開

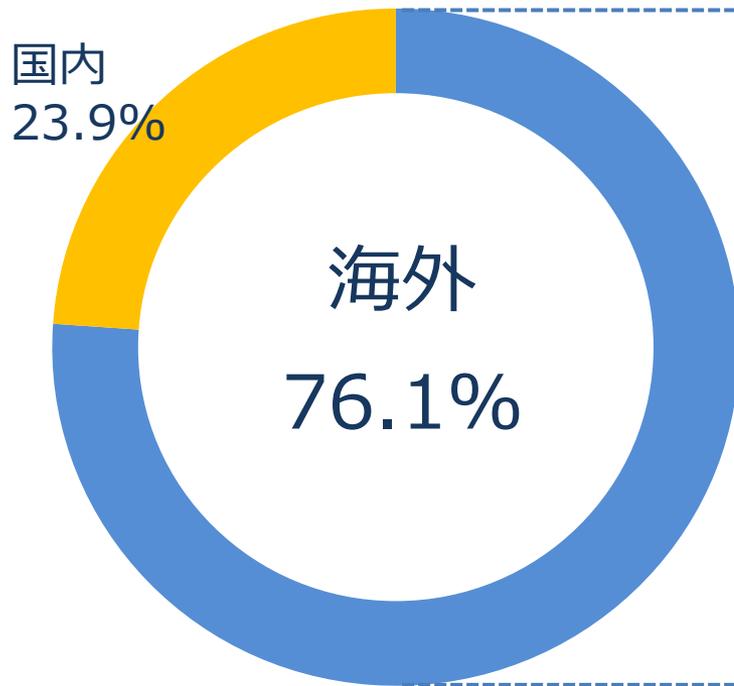


「世界 11ヶ国、20拠点、26工場、2 R & D、2 R」  
グローバル自動車市場の成長を享受できる体制を構築

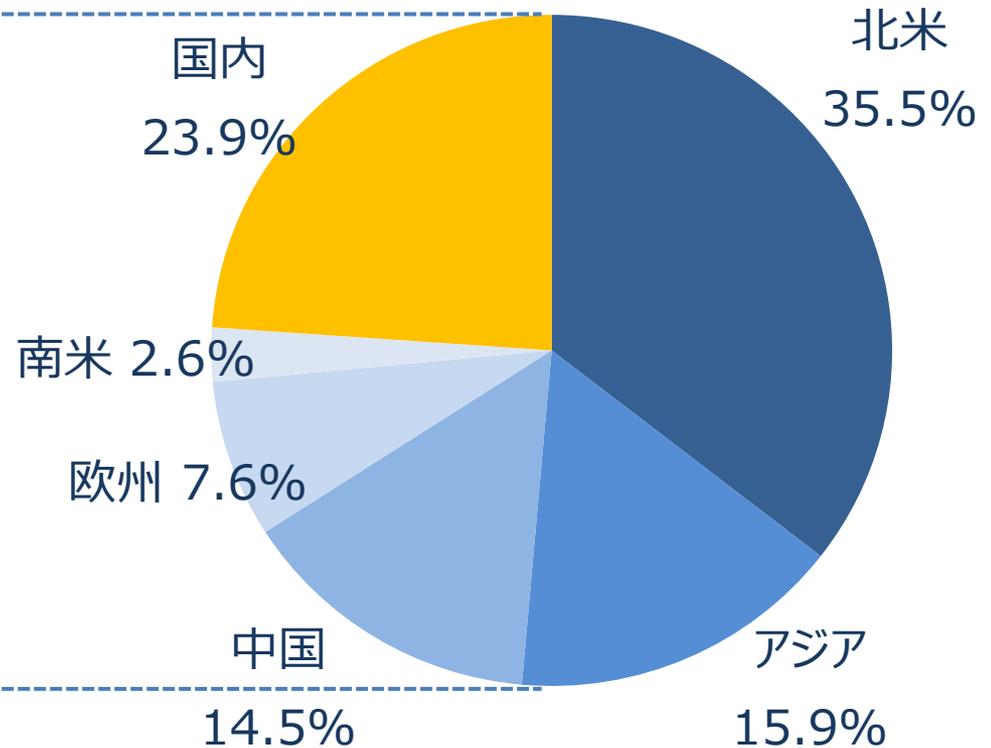
\*今後稼働予定の拠点です。

2017年3月期実績

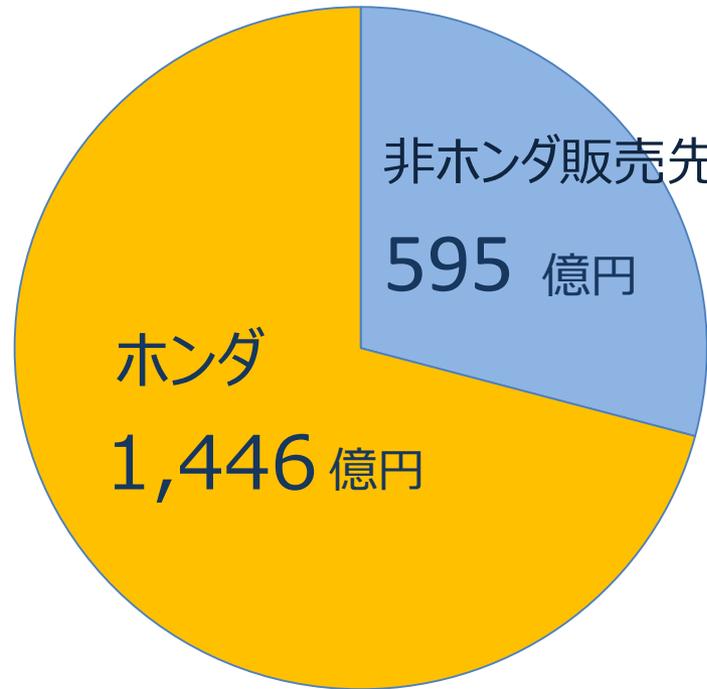
## 高い海外売上高比率



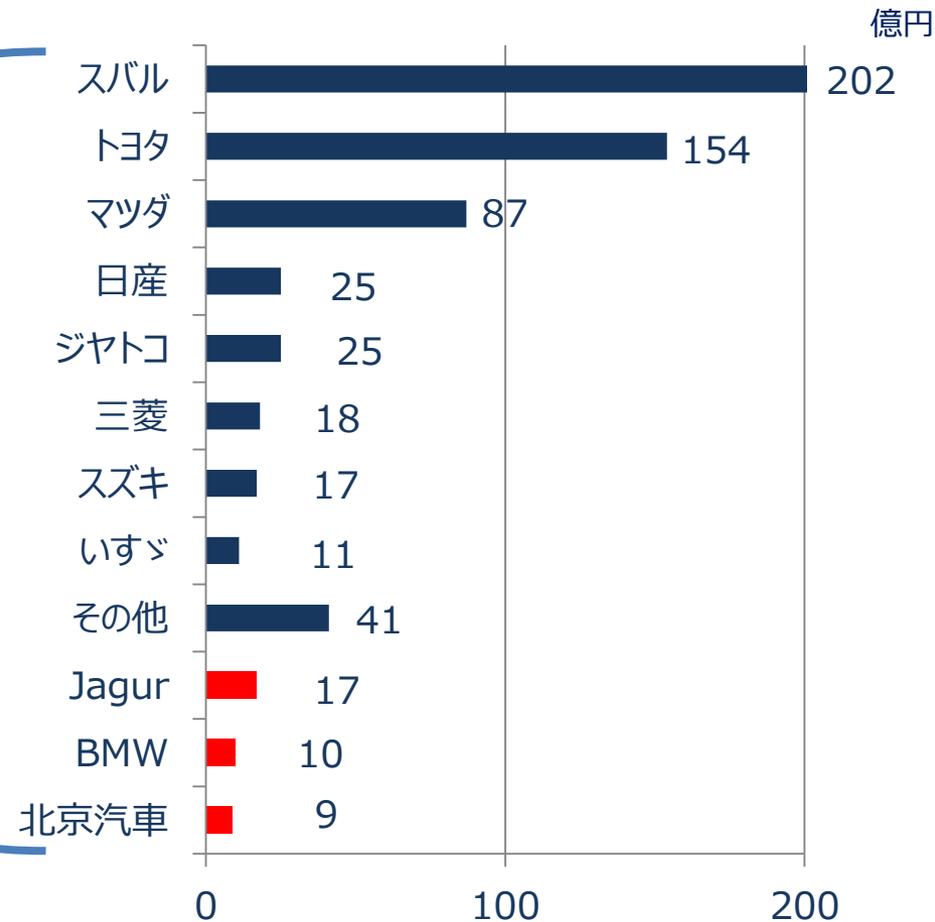
## 地域別売上高



地域ニーズに迅速に対応するため、海外現地生産を積極展開



## 非ホンダ販売先 (2017年3月期実績)



ホンダの主要サプライヤーとして、車体部品の設計から参画し、得意先と共同して車体部品を造り上げる

ほとんどの日系完成車メーカーとグローバルに取引しています  
欧州高級車メーカー・中国メーカーにも販路を拡大中です



## トヨタ自動車元町工場へ納入決定

ジーテクト滋賀工場



トヨタ自動車元町工場



トヨタ納入工場	元町工場
ジーテクト生産工場	滋賀工場
納入部品	車体部品

ジーテクト滋賀工場からトヨタ自動車元町工場への納入は当社初  
国内トヨタビジネスでは、群馬工場・栃木工場に続き、3番目の生産拠点(滋賀工場)

1. 会社概要

2. 当社の競争力

3. 中期事業計画

4. 当社の業績

5. 株主還元

# ビジネスモデル

## ① 研究開発

  は売上に計上

**お客様**

ホンダ、トヨタ  
SUBARU、日産  
スズキ、マツダ  
ジャガー、BMWなど

- 最新技術、マーケット調査
- 次世代技術開発
- 車1台解析 (ゲストエンジニア)
- 試作部品製作・納入

- 企画・マーケティング
- デザイン・クレイモデル製作
- 設計
- 試作車製作・評価

## ② 生産技術

生技性検討・提案 (成形シミュレーション)

生産性検討

試作品製作・納入

生産工程検討

工程計画・設備詳細検討・設備調達

金型・治具・検具製作

品質保証検討

量産準備

設備トライ・品質確認・量産化

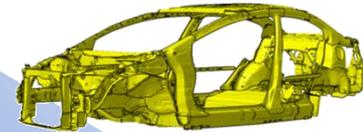
## ③ 生産 (工場)

プレス

溶接

品質検査

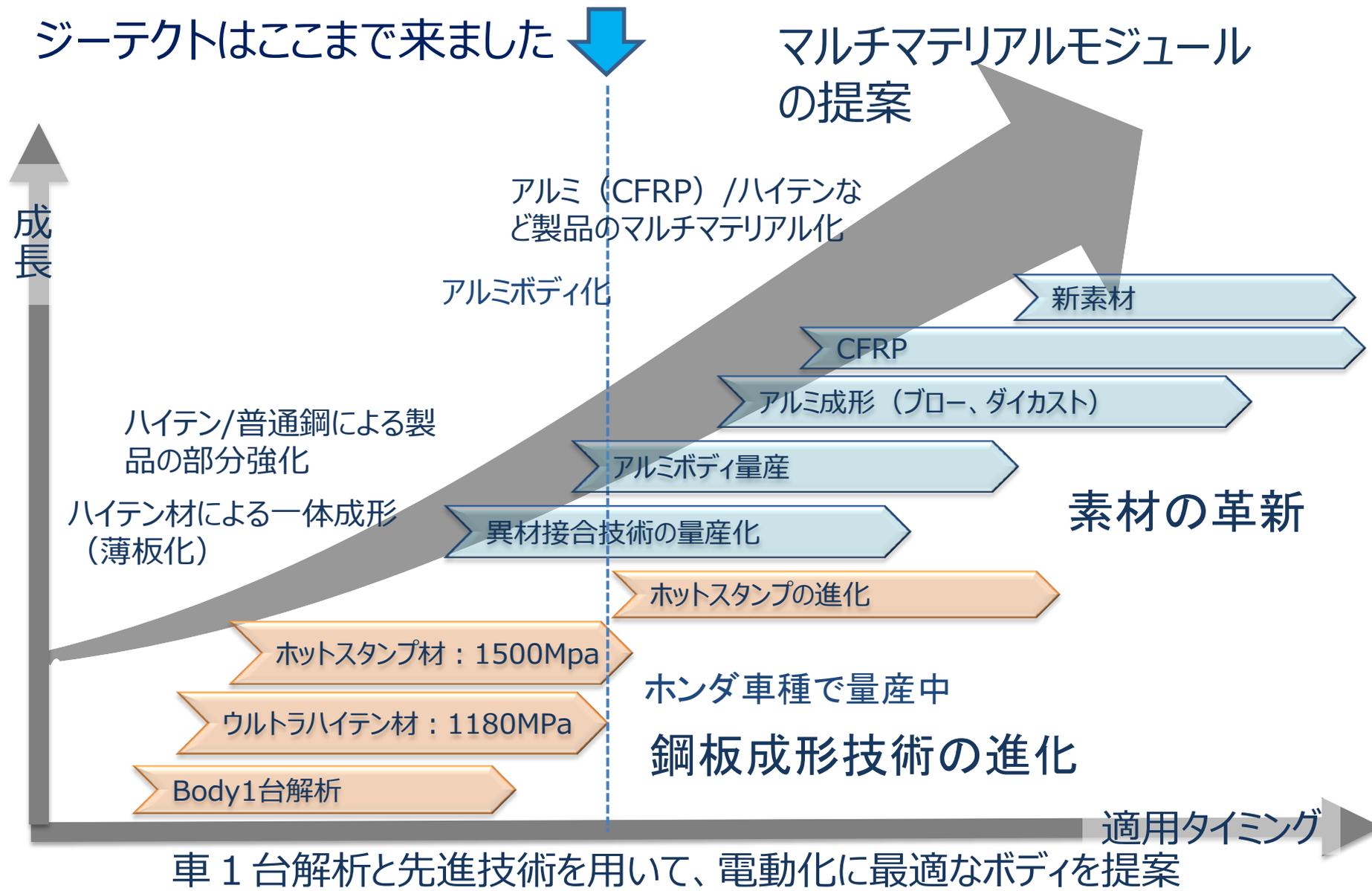
納入



完成 **組立**

**ジーテクト**





## より高強度なウルトラハイテン材、 新型N-BOXで採用（2017年9月発売）

ジーテクトは、早くから、軽くて強いハイテン材による車体部品の量産化を実現  
現在では、ハイテン材より高強度なウルトラハイテン材での量産化を実現し、  
新型N-BOXで採用されました



## 軽量かつ高剛性なボディに欠かせない鋼板の焼き入れ技術

約900℃に熱した薄板鋼板を金型で成形しながら急冷し、  
焼入れを行うことで、1500Mpaの高強度な製品を量産する

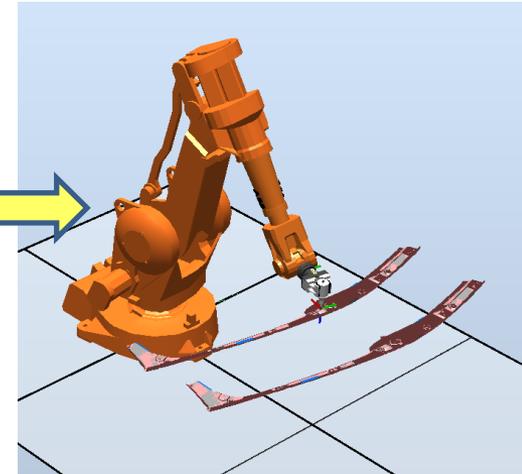
連続加熱炉



プレス成形後急水冷

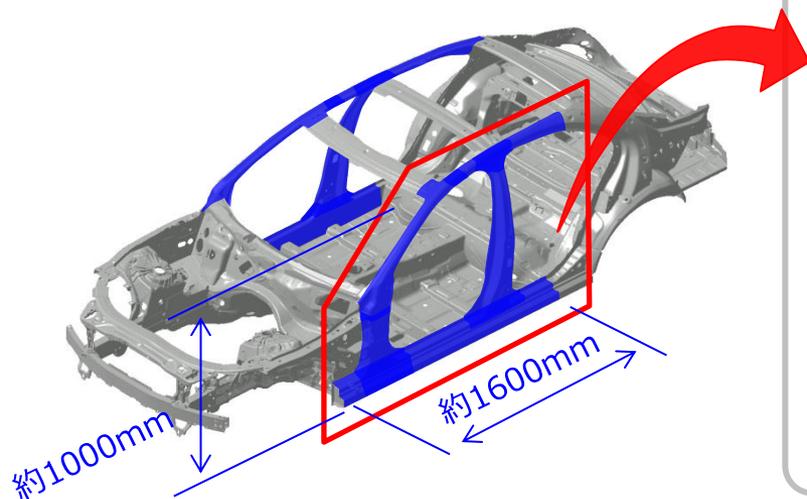


レーザー加工

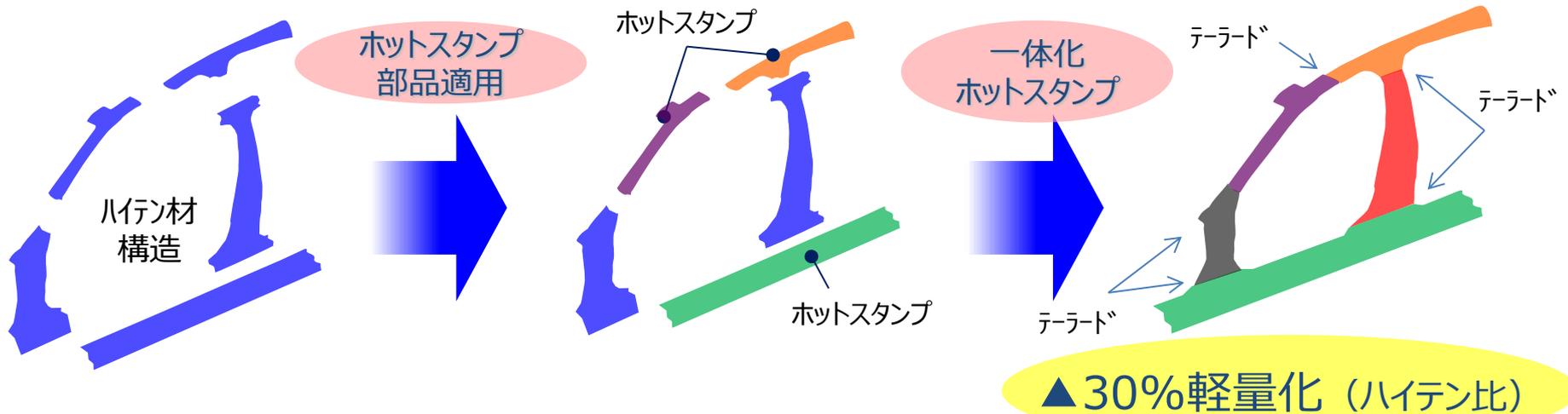
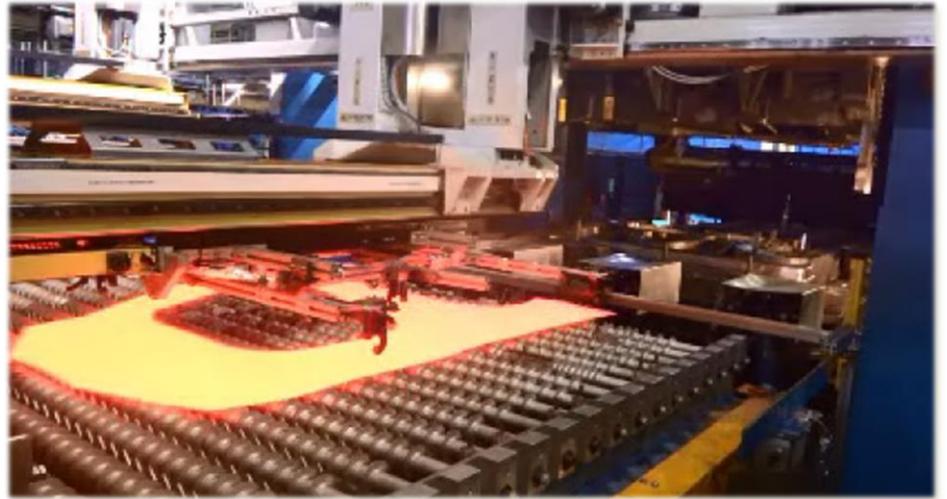


レーザー加工機イメージ

## ◆軽量化（ホットスタンプ）



## ◆一体化ホットスタンプ成形技術



先進のホットスタンプ量産技術により、一段の軽量化が実現

## 新研究開発棟 『ジーテクト東京ラボ(GTL)』



現在の建設状況

### コンセプト

- ・新たな研究環境で、技術イノベーションを加速
- ・魅力ある研究環境で、新たな発想を持つ人材の確保

新技術開発の中核拠点として、2018年4月稼働開始

1. 会社概要

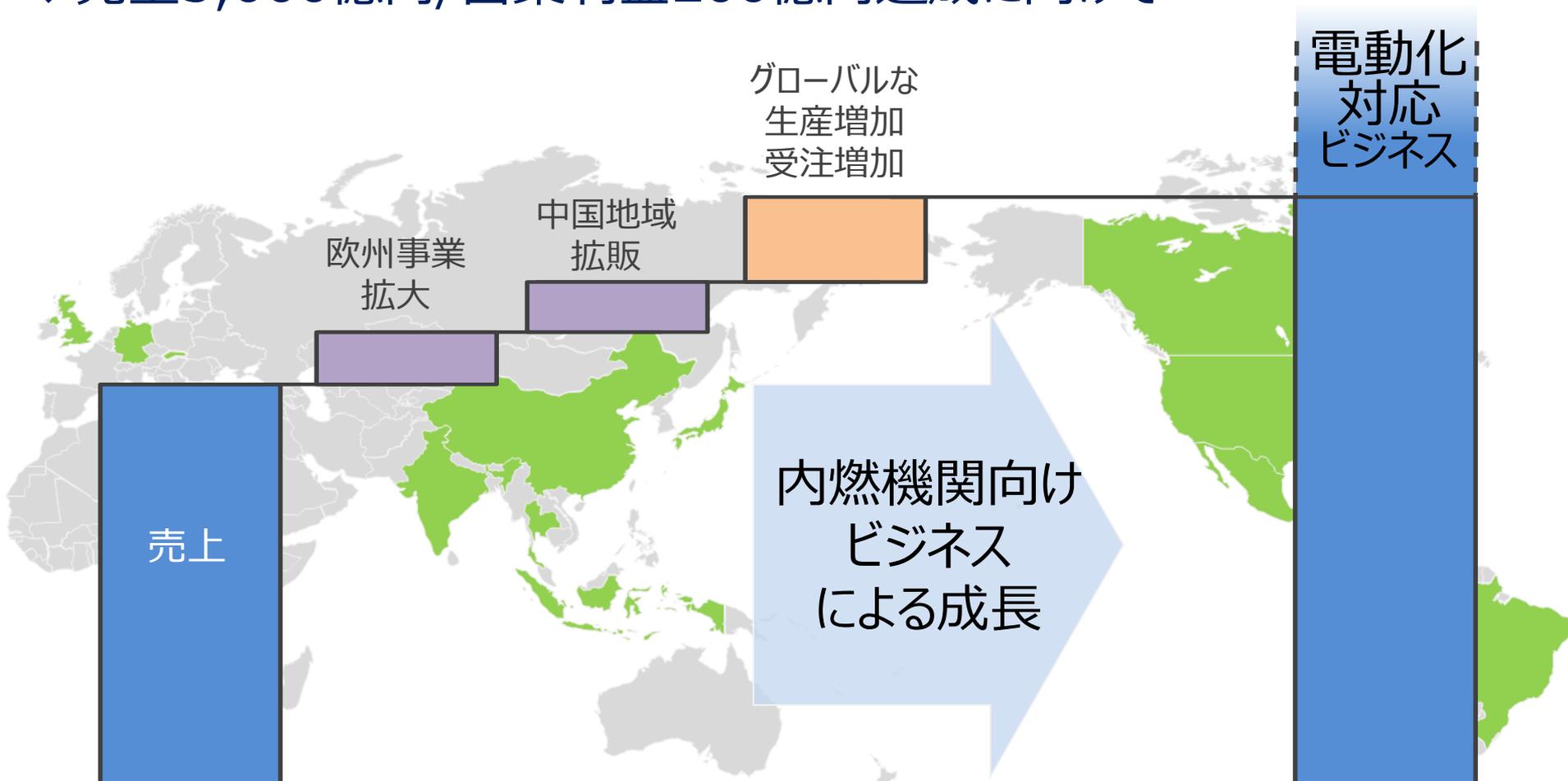
2. 当社の競争力

3. 中期事業計画

4. 当社の業績

5. 株主還元

## ◆売上3,000億円/営業利益200億円達成に向けて



既存エンジン車向けボディは、軽量化技術で得意先はじめグローバルな成長を見込む  
電動化に対応する新ビジネスで、新市場拡大を捉え、更なる成長を加速する

超軽量ボディの  
量産技術の獲得

アルミ  
量産技術

軽量ボディ技術  
軽量バッテリーケース

電動化対応

日本と欧州で先行する『軽量化技術』及び『アルミ量産ノウハウ』を  
電動化対応の武器として、ビジネスの拡大を目指す



G-TEM第3工場(ウェールズ)



G-TEM第2工場(ウェールズ)



G-TEM第1工場(グロスター)



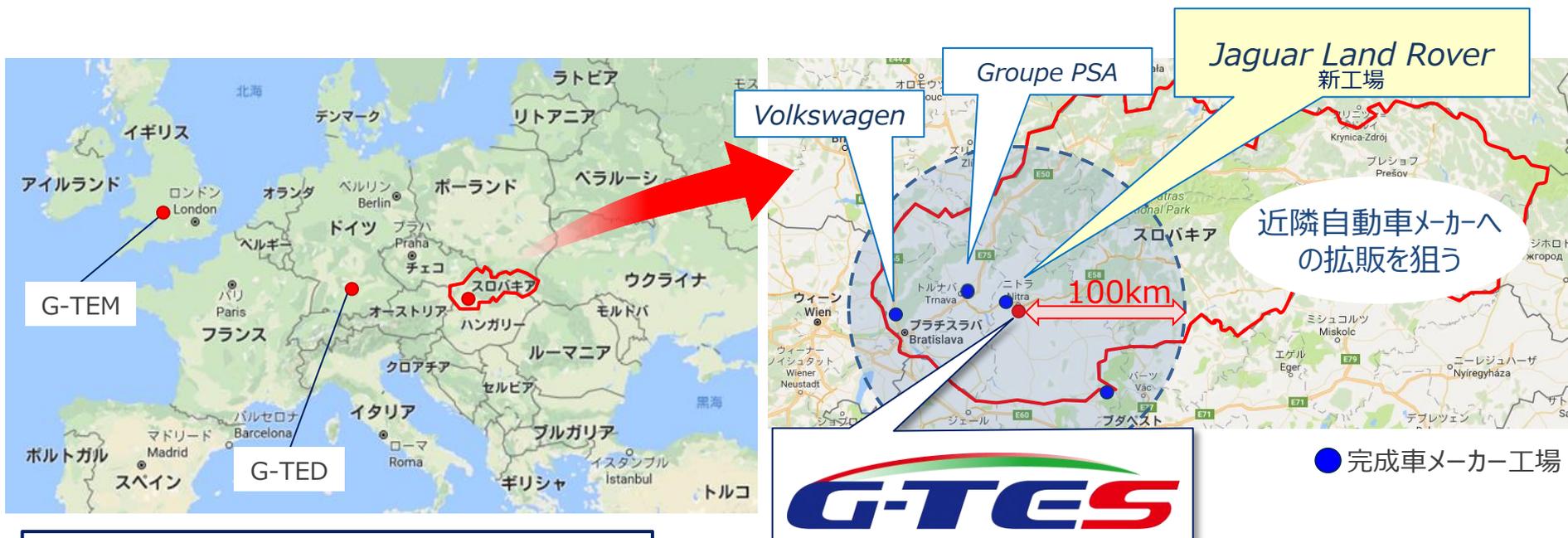
## G-TEM(グロスター)工場拡張 (第4工場)

場所	G-TEKT Europe Manufacturing Ltd. (G-TEM) グロスター工場
目的	受注大幅増への対応及び域内物流効率化
導入機械	1,500t トランスファープレス機 800t ブランキングプレス機 (※アルミ併用仕様)
投資金額	約30百万ポンド



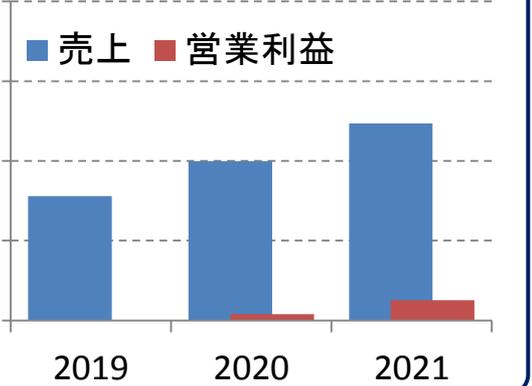
日系メーカー・ジャガーの大量受注に対応、英国・G-TEM社グロスター工場に第4工場を新設。アルミ量産仕様設備を導入し、アルミボディの量産・ノウハウを蓄積

# 欧州アルミボディ戦略～スロバキア進出



## G-TES (G-TEKT Slovakia, s.r.o)

- 通称 : G-TES
- 所在地 : スロバキア共和国 ニトラ
- 資本金 : 28百万1-0
- 土地面積 : 約100,000m<sup>2</sup>
- 建屋面積 : 約15,000m<sup>2</sup>
- 稼働日程 : 2019年6月予定
- 投資額 : 42百万1-0予定



※G-TEMと同仕様設備を導入

## ジャガーランドローバー社のスロバキア現地生産に参加、日系初のアルミボディ量産設立



## GSR (G-TEKT Shanghai Representative office)

- ◆ 上海リサーチオフィス
- ◆ 電動化が急速に進む中国市場で、いち早くお客様のニーズを吸い上げ最適な技術提案を行う

所在地 : 上海市長寧区  
長寧来福士T3ビル22階  
稼働日程 : 2017年10月  
事業内容 : 市場調査、宣伝活動



## WAPAC 第2工場

- ◆ 広汽三菱様向けビジネスの拡大に伴い、長沙市にWAPAC 第2工場を新設
- ◆ 長沙地区は多くの自動車メーカーが点在する

所在地 : 湖南省 長沙市  
建屋面積 : 約6,900㎡  
稼働日程 : 2018年4月予定  
事業内容 : 車体部品の組み立て

● 完成車工場



中国市場の動向をグループで共有し、先進軽量化提案で事業を拡大

## 持続的な成長と進化

■ 入社半年後に、米国・中国・ドイツ・スペイン・ポルトガルに派遣  
語学・現地子会社実習を経験

次世代経営人財

グローバル経営人財

人財マネジメント強化

■ 中堅社員の英語力・財務力強化のため、試験制度導入

海外研修強化

デジタル支援ツール

新人材育成制度

年功廃止

新人事制度

■ グローバルな人財マネジメントシステムの運用開始

■ 次世代経営者養成開始

## 環境認識

少子高齢化

シェアリング経済



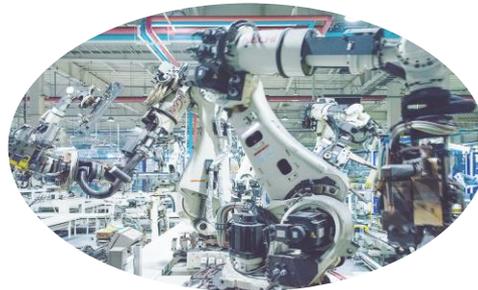
労働人口の減少

国内市場成熟化



生産・技術・管理の3分野での  
生産性向上プロジェクトを組成

一人あたり営業利益の拡大を目指す



### 生産分野

- ・デジタル技術を駆使した省人化工場



### 技術分野

- ・バリューチェーンの革新的改革・外注化による省人化
- ・次世代技術に経営資源を集中投入



### 管理分野

- ・あらゆる業務を見直し、余暇時間を創出し、自己の能力開発をおこなう
- ・戦略人財の育成

# 生産性向上プロジェクト～自動化ライン

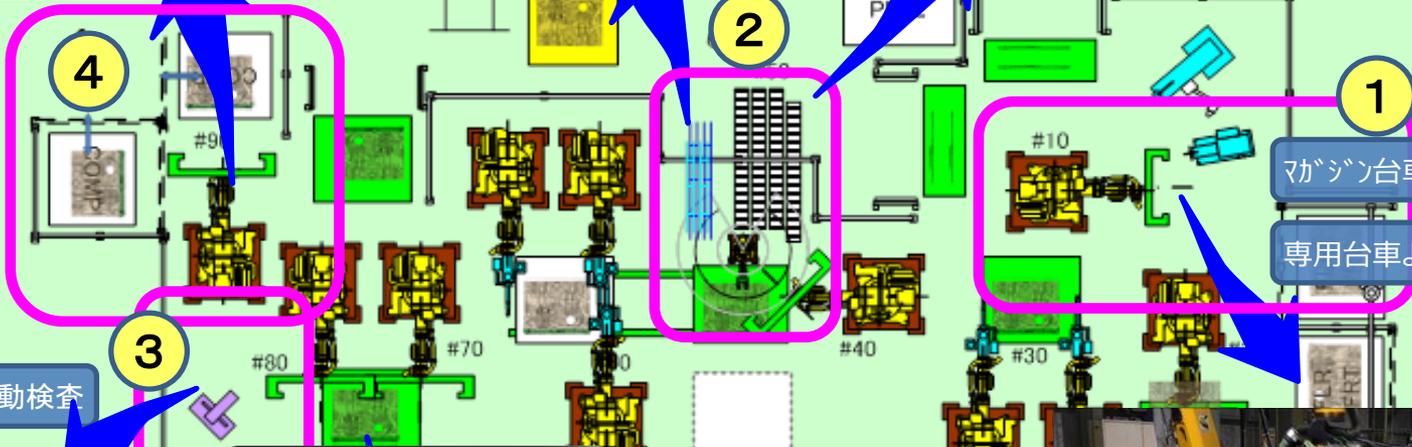


シューター上から自動で部品取出



コンベア上からカメラで部品の位置確認を行い自動で部品取出し

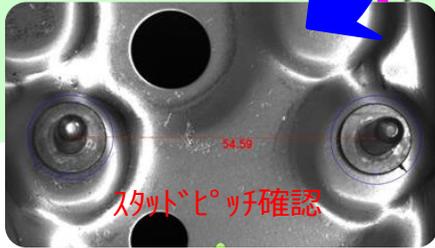
ロケットによる自動払い出し



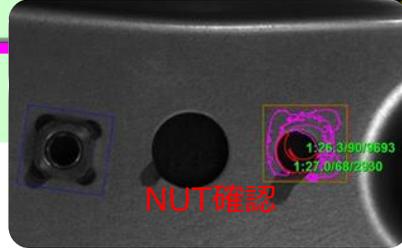
マガジン台車からの単品取出し

専用台車より直接単品取出し

カメラによる自動検査



スタッドピッチ確認



NUT確認



EKT位置確認



自動投入、自動検査を全て無人で実施



カメラによる高精度な  
製品の品質検査が可能に



製品の払い出しもロボットによる自動化へ

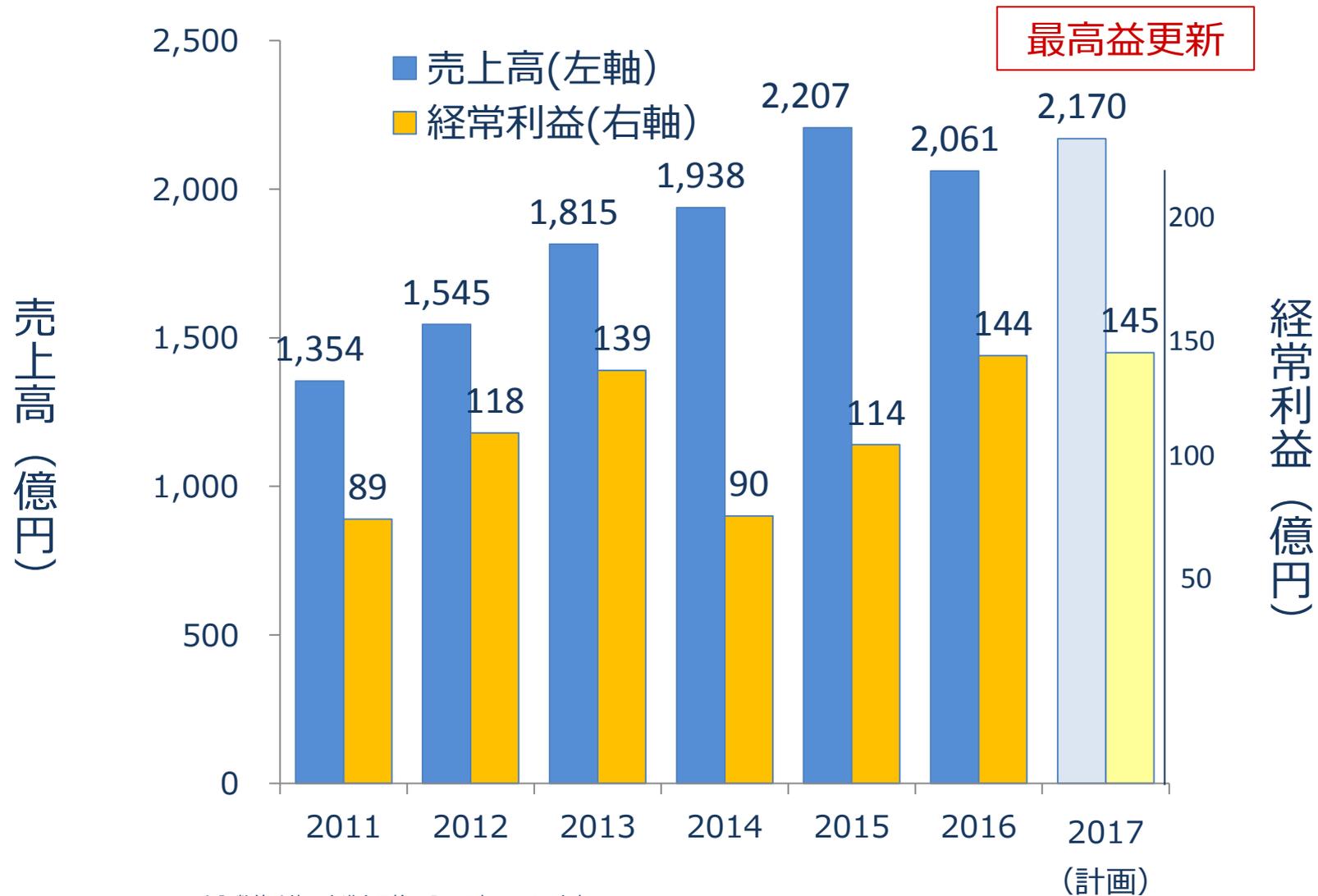
1. 会社概要

2. 当社の競争力

3. 中期事業計画

4. 当社の業績

5. 株主還元



\* 上記数値は億円未満を四捨五入して表示しています。

単位：億円

	2017年3月期		2018年3月期		増減	
	実績	利益率	計画	利益率	増減	増減率
売上高	2,061	-	2,170	-	109	5.3%
営業利益	144	7.0%	137	6.3%	-7	-4.9%
経常利益	144	7.0%	145	6.7%	1	0.5%
当期純利益	97	4.7%	98	4.5%	1	1.0%
一株純利益（円）	222.46	-	224.58	-	2.12	1.0%
米ドル	108.39	-	110.59	-	2.20	2.0%

\* 上記数値は億円未満を四捨五入して表示しています。利益率及び増減率は百万円単位まで計算していますので、表記数値の計算結果と異なります。

# 競合他社比較 (2017年3月期)

(億円)		ユニプレス (5949)	ジーテクト (5970)	東プレ (5975)
業績	売上高	3,212	2,061	1,634
	営業利益 (売上高営業利益率)	230 (7.2%)	144 (7.0%)	204 (12.5%)
	純利益	144	97	137
指標	ROE (%)	11.6	9.2	12.1
	ROA (%)	6.0	4.7	7.1
キャッシュ フロー	営業CF	334	321	279
	EBITDA (利払・税金・償却前利益)	420	336	298
	フリーキャッシュフロー	134	175	69
海外比率	海外売上高比率 (%)	67	80	34

\*『会社四季報』、Astra Managerより、ジーテクト作成

\*上記数値は億円未満を四捨五入して表示しています。

1. 会社概要

2. 当社の競争力

3. 中期事業計画

4. 当社の業績

5. 株主還元



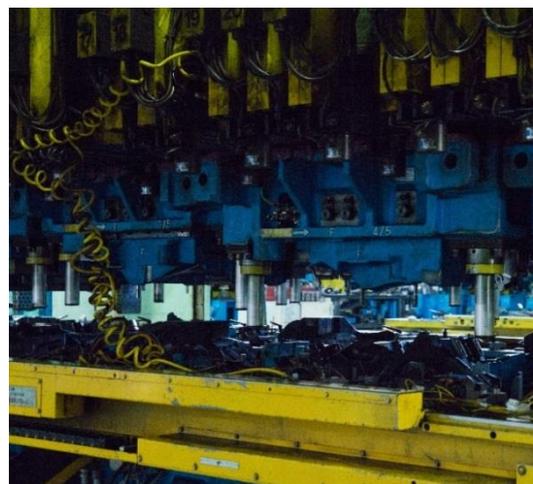
定時株主総会の模様  
場所：ホテルプリランテ武蔵野  
(埼玉県さいたま市)



株主総会終了後、経営陣との直接のコミュニケーションの場として、株主様との懇談会を開催



開催年月	見学工場
2014年10月	埼玉工場
2015年4月	滋賀工場
2015年10月	栃木工場
2016年3月	埼玉工場
2016年10月	群馬工場
2017年4月	滋賀工場
2017年10月	羽村事業所
2018年4月	羽村事業所*



毎年春と秋に株主様限定工場見学会を開催しています。実際にプレス機や金型、溶接ロボットなどを見学いただき、製造現場を体感し、経営陣・工場責任者と活発に質疑応答が交わされています。

\*17年9月末株主様にご案内  
17年9月末株主様向けに、18年4月ジーテクト東京ラボGTL見学会の案内を予定しています。



## 目的

中長期的に当社の持続的成長を、ご支援いただいている株主様に、ささやかな感謝のしるしとして贈呈しています

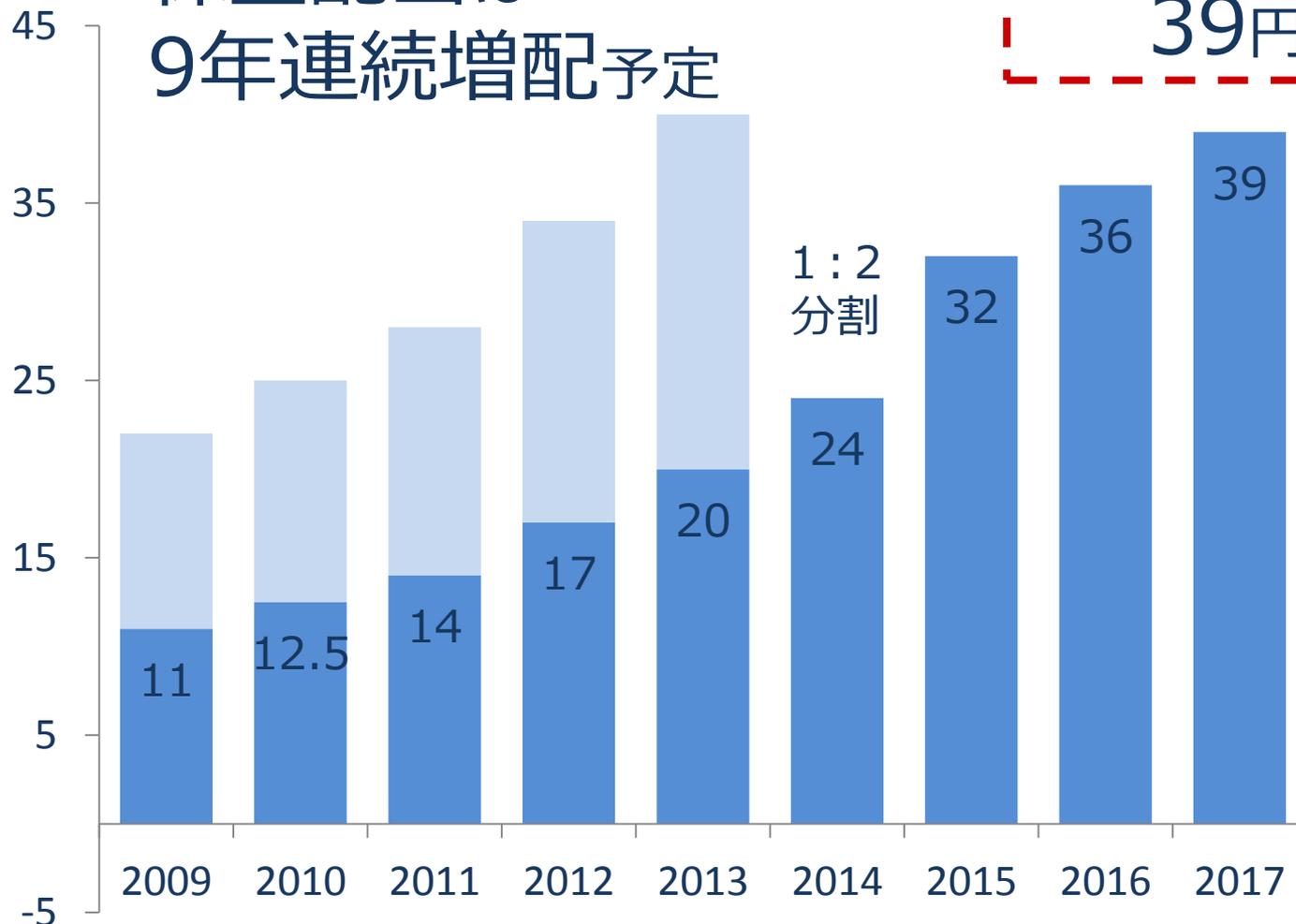
保有株式数	継続保有期間	優待内容
100株以上	1年未満	クオカード1,000円
	1年以上3年未満	クオカード2,000円
	3年以上	クオカード3,000円

※継続保有期間とは、それぞれ、同じ株主番号で3月末時点での当社株主名簿に、以下の回数以上、連続して記載または記録されていることとします。

1年以上3年未満：2回、3年以上：4回

## 株主配当は 9年連続増配予定

2017年度通期配当  
**39円**



2008年7月に1：1.2の株式分割、2014年4月に1：2の株式分割を行っており、配当金額は株式分割調整を反映しています。  
2011年3月以前は旧菊池プレス工業の数値であります。

いくらから買える? ➡ **210,000円**

配当利回り ➡ **1.85%**



円	中間	期末	年間
2014	11	13	24
2015	15	17	32
2016	18	18	36
2017	19	20	39

	税前配当額	株主優待	総合利回り
1年保有	3,900円	1,000円	2.33%
2年保有	3,900円	2,000円	2.80%
3年保有	3,900円	3,000円	3.28%

※上記は株価2,100円で100株購入した場合の試算例です。  
手数料・税金等は考慮していません。

ジーテクト

検索 🔍



🔍 EN / JP

🏠 サイトマップ

✉️ お問い合わせ



ホーム

企業情報

製品

テクノロジー

IR情報

CSR

採用情報

ホーム > IR情報

🖨️ PRINT



IR情報

株主・投資家の皆さまへ

グローバルな視点で、  
「世界 TOP の車体部品と  
トランスミッション部品の専門メーカー」の地位を  
確実に築いていきます。

📈 株価情報



🎁 株主還元

IR情報

- > 経営方針・戦略
- > 株主・投資家の皆さまへ
- > 個人投資家の皆さまへ
- > コーポレートガバナンス
- > IRカレンダー

【URL】 <https://www.g-tekt.jp/ir/>

# ファクトシート(1)

ご参考資料

(百万円)	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度
売上高	154,518	181,517	193,769	220,731	206,072
売上原価	133,234	156,703	172,478	194,769	178,641
販管費	9,890	10,692	11,647	13,134	13,029
営業利益	11,392	14,121	9,643	12,826	14,402
経常利益	11,815	13,852	8,983	11,382	14,430
税前当期純利益	12,157	13,898	9,002	11,660	14,471
当期純利益	7,537	8,020	4,652	7,559	9,706
一株当期純利益/円	358.11	365.52	106.01	172.93	222.46
総資産額	144,752	194,495	227,690	215,285	208,584
純資産額	80,487	100,599	116,044	114,775	119,340
自己資本比率	50.5	46.9	46.0	48.1	51.5
一株純資産額/円	3,328.45	4,153.20	2,385.72	2,371.99	2,461.76
有利子負債	36,674	50,284	66,937	60,706	46,840

# ファクトシート(2)

ご参考資料

(百万円)	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度
営業キャッシュフロー	18,860	21,423	16,562	31,771	32,174
投資キャッシュフロー	△22,150	△29,858	△36,792	△21,420	△14,601
フリーキャッシュフロー	△3,290	△8,435	△20,230	10,351	17,572
財務キャッシュフロー	34	9,843	13,419	△7,944	△14,809
現金・現金同等物	13,126	16,117	11,221	14,604	18,189
減価償却費	11,956	14,043	17,343	22,855	21,289
設備投資額	16,217	21,057	43,671	20,181	22,394
研究開発費	415	1,107	1,665	2,161	2,242
売上高営業利益率	7.4	7.8	5.0	5.8	7.0
売上高経常利益率	7.6	7.6	4.6	5.2	7.0
売上高当期純利益率	4.9	4.4	2.4	3.4	4.7
売上原価率	86.2	86.3	89.0	88.2	86.7
売上高販管費率	6.4	5.9	6.0	6.0	6.3

# ファクトシート(3)

ご参考資料

所在地 百万円	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度
<b>【売上高】</b>					
日本	48,966	50,012	55,859	53,281	52,772
北米	55,566	60,955	67,459	86,615	78,479
欧州	9,730	9,474	10,117	11,941	16,915
アジア	23,439	32,658	33,069	40,499	35,234
中国	21,690	31,878	32,207	33,525	32,041
南米	5,784	6,662	11,151	8,902	5,552
<b>【営業利益】</b>					
日本	3,353	3,179	2,137	2,245	1,558
北米	1,874	2,558	2,476	3,541	3,552
欧州	1,113	889	959	1,148	2,461
アジア	3,370	4,010	2,574	4,261	3,890
中国	1,054	2,982	1,594	1,232	2,614
南米	707	465	444	341	253



ジーテクトは、自動車産業の変革期の中で、  
電動化をキーワードに、ボディづくりの専門メーカーとして  
持続的な成長と進化を遂げていきます。

皆様の投資ポートフォリオに加えていただきたく、  
よろしくご検討をお願い申し上げます。

将来見通しに関する注意事項:

このスライドに記載されている株式会社ジーテクトの業績見通しについては、現時点で入手可能な情報に基づき当社の経営者が判断した見通しであり、リスクや不確実性を含んでいます。

実際の業績は、さまざまな重要な要素により、これら業績見通しとは異なる結果となりうることをご承知おきください。

実際の業績に影響を与え得る重要な要素には、当社の事業領域をとりまく経済情勢、市場動向、対ドルをはじめとする円の為替レートなどが含まれます。